

料金別納郵便



加藤清之 展

令和2年5月8日(金)~14日(木) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日14日は午後5時まで)

加藤清之氏は、作品制作に際して、まず不自然さを排除します。一つ一つ不自然さを排除してゆくことで、自身か納得するフォルムを創り、自身か納得する線を刻みます。それが、加藤氏の清潔感を大切にする作陶姿勢です。

以前私は、加藤氏の灰釉茶碗について、茶に媚びず茶を飲む唯一の茶碗と記しましたが、新作の茶碗を見ると、そうした意識すら越えているように感じられます。90歳を前にして、真に自由の境地を極められたのか、心の赴くままに造形も模様も表現されています。今回の黒土白泥彩茶碗は、轆轤造りではなくタタラ造りによるもので、加藤の強靱な造形力と研ぎ澄まされた感覚によってモダンな茶碗に仕上がっていますが、口縁がベバラになってとても躍動感に溢れています。今展には、そうした新たな境地をしめす黒土白泥彩茶碗、灰釉茶碗、黄瀬戸茶碗のほか、花器やミニアチュール花器など、魅力ある作品が出品されます。

森 孝一(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)

陶歴 昭和6年 愛知県瀬戸市に生まれる
昭和39、40年 朝日陶芸展 大賞
昭和45年 日本陶磁協会賞
昭和62年 勅使河原蒼風コレクションによる加藤清之展(草月美術館)
平成17年 土から生み出すかたち・造形の軌跡 加藤清之展(愛知県陶磁資料館)
平成19年 日本陶磁協会賞 金賞
朝日陶芸展審査委員長はじめ多くの公募展の審査委員を歴任

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
TEL.03-3352-5118 mail : gallery@kakiden.com
http://www.kakiden.com/gallery



